

代表者名	中嶋 章	所 管 部 課 名	農林水産部農畜産振興課
所 在 地	秋田市河辺神内字堂坂2-1	設 立 年 月 日	昭和53年6月6日

【沿革及び県の出資理由】

秋田県における肉畜及び食肉流通の合理化を図り、もって畜産農家の経営安定と県民生活の向上に寄与する事を目的に、昭和53年6月6日に設立。と畜という広域のかつ公共的な事業を行う会社であることから、県も出資した。

【出資者】(22年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	445,710	33.8
市町村	25	16,000	1.2
その他	6	857,990	65.0
計	32	1,319,700	100.0

【事業】

主たる業務

1,肉畜のと殺、解体。 2,枝肉及び副生物の買い取り並びに受託処理加工。 3,食肉及び副産物の加工並びに貯蔵販売。 4,前各号に付帯する一切の事業。 5,加工品の製造販売に関する事業。

事業実績

(頭)

事業名等	19年度	20年度	21年度
豚と畜頭数	150,061	153,765	159,577
豚かつ頭数	64,716	67,656	68,712

21年度事業概要及び22年度事業計画・目標

1.平成21年度事業概要

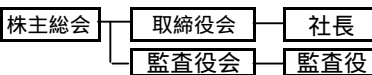
豚と畜159,577頭、牛馬と畜4,675頭、豚かつ68,712頭、牛馬かつ1,059頭、枝肉・加工品販売高6,320百万円、総売上高6,789百万円

2.平成22年度事業計画

豚と畜160,000頭、牛馬と畜4,350頭、豚かつ69,000頭、牛馬かつ1,050頭、枝肉・加工品販売高6,495百万円、総売上高6,954百万円

【組織】

運営機構



役員数 (H22.7.1現在) (人)

	取締役	監査役
常勤	3	1
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	7	2
内、県退職者		
内、県職員		
計	10	3
内、県関係者		

役員報酬支給対象者数	3人
役員報酬支給対象者平均年齢	58歳
平均役員報酬額	5,480千円/年

職員数 (H22.4.1現在) (人)

正職員	52	正職員平均年齢	正職員平均勤続年数
内、県退職者			
出向職員	2	42歳	15年
内、県職員			
臨時・嘱託	6		
内、県退職者			
計	60	正職員平均年収	4,343千円
内、県関係者			

【財務】

損益状況(21年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	6,799,384
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	6,758,273
運用益収入	
その他	41,111
経常支出 B	6,746,127
人件費(役員含む)	337,563
その他	6,408,564
経常損益 C = A - B	53,257
経常外収入	
経常外支出・諸税	28,405
当期損益	24,852

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

財務状況(21年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	942,613	54.0
固定資産	803,835	46.0
資産計	1,746,448	100.0
流動負債	261,977	15.0
短期借入金	41,484	2.4
固定負債	233,349	13.4
長期借入金	110,624	6.3
負債計	495,326	28.4
資本金	1,319,700	75.6
剰余金	68,578	3.9
純資産計	1,251,122	71.6
負債・純資産計	1,746,448	100.0

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	152,356	82,277	50.5%

外部積立(中小企業退職金事業団70,079千円)

上記の他に、役員退職慰労引当金10,508千円 (千円)

【県の財政支出】

	19年度	20年度	21年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	19年度	20年度	21年度	19-20増減	20-21増減
健全性	自己資本比率	%	66.63	71.10	71.64	4.47	0.54
	借入金依存率	%	12.91	11.22	8.71	1.69	2.51
	流動比率	%	322.71	408.16	359.81	85.45	48.35
収益性	剰余金(欠損金)	千円	106,664	93,431	68,578	13,233	24,853
	経常利益率	%	0.41	0.56	0.78	0.15	0.22
	総資本利益率	%	1.71	2.37	3.05	0.66	0.68
発展性	経常収入額	千円	7,545,954	7,304,779	6,799,384	241,175	505,395
効率性	総資本回転率		4.14	4.24	3.89	0.10	0.35
	職員1人当たり経常収入	千円	132,385	125,944	115,244	6,441	10,700
	人件費比率	%	4.65	4.58	4.96	0.07	0.38

2 経営目標の達成状況

経営目標			19年度	20年度	21年度	22年度
経営改善指標	剰余金(千円)	目標	100,085	86,000	66,000	45,000
		実績	106,664	93,430	68,578	
事業成果指標	借入金残高(千円)	目標	235,076	193,592	152,108	110,624
		実績	235,076	193,592	152,108	
事業成果指標	と畜頭数(豚換算:頭)	目標	175,050	175,050	175,750	175,050
		実績	163,792	167,316	173,602	
	カット頭数(豚換算:頭)	目標	91,500	92,500	92,500	92,500
		実績	74,726	77,237	79,303	
顧客満足度指数	目標	80	80	80	80	
	実績	89	79	100		

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

- 課題
事業量、販売先確保と債権管理、平成22年度から経営改善指標(剰余金)の経営目標を新たに設定
- 経営目標の達成状況への自己評価
平成12年度から10期連続の単年度黒字計上で、当期末欠損金が6千万円台までに減少した。
借入金については、約定どおり返済が進んでいる。
国内景気の低迷と、卸価格が下落し、経常収入額は減少したほか、目標とする事業量は未達になったが、単年度計画は達成できたほか、経常支出の圧縮等により、経営体質は改善されており、健全な経営が維持されている。
<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組>
調査を継続し、消費者ニーズの把握に努める

4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
・と畜及びカット部門は計画及び前期比ともに100%を超えたが、販売部門の売上が前期比92.4%と低調であったため、経常収入は505百万円減少となったものの、人件費と諸経費の削減に加え、重油価格の安定により、経常支出が517百万円減少となり、経常利益は12百万円の改善となった。 ・繰越欠損金の早期解消のため、平成22年度の販売部門の売上予算は、当年度よりも高く設定しているが、予算達成のためには、消費低迷が長期化する中、販売促進へ向けた更なる努力が望まれる。	